

# 「二度と戦争しない」

戦後  
78年

日本軍の中国侵略の発端となった1931年の満州事変以降、さら甚大な被害を生んだ太平洋戦争終結の1945年8月15日まで、死傷者は2400万人と言われています。二度と戦争は起こさないために制定した日本国憲法9条に基づく平和外交に徹し、核兵器禁止条約に参加することこそ、いま日本政府に求められる平和構築の道です。

必要  
なのは

# 9条をいかに かすこと

## 軍拡で平和は築ける？

岸田政権は「核兵器のない世界」を唱えながら、核兵器を禁じる核兵器禁止条約への参加は拒否しています。それどころか「核抑止力」を強調し、アメリカの核戦略に積極的に入ろうとしています。

岸田政権が狙うのは、米軍とともに自衛隊が他国を先制攻撃する「敵基地攻撃能力」（反撃能力）の保有と軍備増強です。そのために生活支援予算を削って防衛費を倍増し、憲法9条も変えようとしています。しかしこの方向は近隣諸国との緊張を高め、軍拡競争を引き起こしかねません。

## 「戦う覚悟」持て？

麻生自民党副総裁は台湾を訪問して、台湾有事を念頭に「戦う覚悟を」などと発言しました。これに示されるように、いま自衛隊は日米軍事同盟の下で中国威嚇の役割を担わされて増強され、緊張を激化させています。

世界の圧倒的多数は非同盟です。話し合いで平和を実現する努力は、諸外国で実践されています。日本も憲法の理念に即し、軍事同盟によらない外交を軸にした平和構想を展望すべきです。



沖縄を  
平和の  
拠点に

日本の敗戦から27年間、米軍占領下にあった沖縄県の施政権が日本に返還され、今年で51年です。沖縄返還を実現させた県民の願いは、「基地のない平和な沖縄」でした。しかし今も沖縄には米軍基地が集中し、名護市辺野古には新基地が造られようとしています。

さらに今、沖縄・九州の南西諸島はアメリカが対中軍事包囲網を築く最前線とされ、米軍・自衛隊のミサイル部隊が大増強されています。これは再び沖縄を戦場にしかねない道です。沖縄・日本を「戦争の拠点」でなく「平和の拠点」に変えましょう。

**日本平和委員会**

2023年8月発行

一人ひとりの平和の願いをもとに行動する平和NGOです

<http://j-peace.org/>

東京都港区芝1-4-9平和会館4階

TEL03-3451-6377 FAX03-3451-6277